

戦評用紙

大会名	平成29年度山形県高等学校新人体育大会バスケットボール競技
-----	-------------------------------

日時	20 18 年 1 月 14 日 12 : 00 ~	区分	山形県高校体育連盟
----	----------------------------	----	-----------

チームA				チームB
山形市立商業				山形中央
79	15	1Q	8	59
	19	2Q	16	
	16	3Q	16	
	29	4Q	19	
		延長		

【戦評】

白山形商業4, 5, 6, 7, 8、青、山形中央5, 6, 7, 8, 9。白山形商業で試合が始まる。山形中央は3-2ゾーンディフェンスで守り、山形商業はマンツーマン。山形商業はゴール下やコーナーの合わせで得点を重ねる。対する中央も#5#9中心に攻め、ジャンプシュートを確実に決める。山形中央#9のフリースローを2本は外し、山形商業#6コーナーのジャンプシュートを決めた時点で、山形中央のタイムアウト(4:45)。タイムアウト後、山形商業が3連続得点をし、点差を広げるが、山形中央#5が3Pを決め、15:8で第1Q終了。

第2Q山形中央の得点から始まる。山形商業も確実に得点を重ね、一進一退の攻防が続く。24:18(残り4分25秒)で山形商業がタイムアウトを取る。山形中央#9のフリースローと1対1で連続得点をするも、山形中央のファウルがかさみ、山形商業は確実にフリースローを決める。その後も#4のドライブが決まり、34:24で前半が終了。

後半、山形中央はオフェンスリバウンドを取り、チャンスをつくるが得点にはつながらず、一方、山形商業はバスケットカウントを2本もらい、点数を決めていく。その後、山形中央#9の1対1や#5のバスケットカウントで流れを戻そうし、5点差まで詰める。第3Q残り1分、山形商業が#7のバックシュート、#5が3Pを決め、流れを断ち切り、50:40で第3Q終了。

第4Q、山形中央はオールコートマンツーマンで前から必死にプレッシャーをかけ、点差を縮めようとするが、山形商業の激しいオフェンスを止めることができず、点数が開いていく。残り5分39秒(62対44)で山形中央がタイムアウトを取る。その後、#5の3Pもあり、追いつこうとするが差が詰まらず、タイムアップ。79対59で山形商業に勝利で試合が終了した。

戦評者

福士 堅